

自然と緑は、昭和56年から活動しているボランティア団体です。森林の荒廃を防ぐため、森林整備活動や企業の森での活動指導、環境教育や自然を楽しむイベントの開催など、幅広い活動を続けています。

幅広い活動で森林生態系の重要性をアピール

自然と緑を守り続けるために

「自然と緑」は、昭和56年に琵琶湖下流域に暮らす大阪府民の有志が、琵琶湖の水源となっている国有林などの森林を荒廃から守ろうと前身である任意団体「自然と緑を守る府民会議」を結成して以来、水源の涵養機能や生物多様性の保全など、一貫して森林生態系が地球環境に及ぼす重要性を訴え続けてきました。平成4年2月にはシンポジウム「森林が無くなる、守ろう暮らしと地球環境」を開催し、これがきっかけとなって平成7年に市民大学「自然大学」を開講しました。

また平成9年には、和歌山県高野営林署（当時）が管理する約1haの国有林にスギ・ヒノキ・コウヤマキ・ヤマザクラ・カエデなど約3,000本の植樹をするとともに、植樹祭終了後に地元小学校の児童やボランティアなど約280人による自然観察会も行いました。この成功を足がかりに、翌年には「水源の

多岐にわたる活動内容

現在、会は主に7つの活動を展開しています。

①馬ヶ瀬山国有林の保全活動
馬ヶ瀬山国有林の保全活動は今年15年目を迎えました。土地を管理する滋賀森林管理署と、ふれあいの森協定を結び、「近江馬ヶ瀬ふれあいの森林」と名づけた森林で、ニホンジカの食害保護・補植、スギ・ヒノキ人工林の間伐、除伐、アカマツやコナラの枯損木の伐採整理など、多岐にわたる活動を続けています。また、隣接する「大阪市水道局の森」でも、水

森林づくり」に着手。琵琶湖西岸にある比良山の麓、馬ヶ瀬山国有林の約1haの伐採地跡に約370人が集まり、2,300本のヒノキ・ヤマモモ・ヤマザクラなどを植樹しました。

平成10年に法人格を取得して「NPO法人自然と緑」となつてからは、馬ヶ瀬山国有林を主な活動の場として、森林整備やレクリエーション、環境学習などに取り組んでいます。



ふれあいハイク



今年10年目を迎えた「NTTドコモ近江奥島の森」の活動



特定非営利活動法人 自然と緑

- **会員数**
225人(平成25年7月現在)
- **活動フィールド**
滋賀県大津市北小松地域
(馬ヶ瀬山国有林・大阪市水道局北小松用地)ほか
- **活動日**
毎月第4日曜ほか随時
(会報、ホームページを参照)
- **ホームページ**
http://home.att.ne.jp/iota/sizen_midori/



草木染体験

「森林の小楽校」での間伐体験(馬ヶ瀬山国有林)



自然大学実習風景(奈良県春日山)



自然大学室内講義
「環境と人間」
(只木 良也学長)

源涵養の役割を果たせるよう、里山林の除伐やアカマツの倒木除去などの整備活動を行っています。

② 自然大学

平成7年に開講した市民大学「自然大学」(只木良也学長)は、来年20年目を迎えます。

各界の著名な教授陣による各7回の講義と野外実習で、毎年50人前後の生徒に森林や生態系の基礎から問題点などを学ぶ場を提供しています。

本年度の講義は、「森林の生態」、「森林生態系と動物・熱帯林と林産物」、「森林資源・まじめ」などの7回、野外実習は、「夏緑林(冷温帯林)の生態観察と自然観察の方法実習(金剛山)」、「森林管理・森林作業体験(馬ヶ瀬山)」、「冬鳥の観察(鶴見緑地公園)」などの7回を予定しています。

③ 企業の森活動

今年10年目を迎えた滋賀県近江八幡市の奥島山国有林にある「NTTドコモ近江奥島の森」、「アサヒビール近江奥島水源の森」をはじめ、奈良県奈良市の忍辱山国有林の「NTTドコモ大和まほろばの森」、兵庫県三田市の加茂山国有林の「NTTドコモ兵庫三田の森」で、企業の森林整備活動を指導しています。

④ 炭焼き

間伐、除伐、枯損木処理などの活動で出た木材を無駄にしないため、定例活動と併せて月1回炭を焼いています。自然大学で学んだ土壌改良の実践として、炭を土壌に埋め戻すなどの実験も行っています。

⑤ 森の楽校

次世代を担う小中学生を対象にした「森の

楽校」では、間伐体験で出た木材でイカダを組み、琵琶湖で遊ぶなど、子どもたちに遊びを通して森林の大切さを体感してもらう活動を行っています。

⑥ 森林と市民をつなぐ活動

年間を通して、野草料理、草木染、つるかご教室、自然の素材を使ったクラフト製作の指導など、森林と市民をつなぐ活動を行っています。

⑦ ふれあいハイクなど

会員と一般参加者を対象に、健全な森林が私たちに水を供給してくれていることを認識してもらうため、毎月1回、自然観察を主とした「ふれあいハイク」で近畿一円を訪れています。ほかに、琵琶湖を1周する「琵琶湖周行235」、淀川を河口の大阪湾から琵琶湖まで遡る「淀川探訪」など、各地の歴史を学びながら歩くイベントも開催しています。

参加者の年齢層と地域の拡大を

「自然と緑」では、大阪府に在住する60〜70代の活動参加者が多いため、地元滋賀県からの参加や若者の参加を増やすとともに、地元団体との連携も強めていくことが、今後の課題となっています。

毎月第4日曜日の馬ヶ瀬山国有林での活動は、予約申し込みが不要なため当日参加(午前10時集合)も可能で、活動フィールドも、最寄りのJR湖西線北小松駅から徒歩10分とアクセスも良いということで、会では地元からのより多くの参加を呼びかけています。